

# 甲南大学法科大学院入学試験問題について

2018年度秋入学・2019年度春入学  
一般入学試験（A日程・7月8日分）

## 試験科目：民法

### 1. 出題趣旨

問題1では、不動産の賃借人がその賃借物を第三者に不法に占有されている場合に、民法上どのような救済手段が認められるかを説明させることで、物権法・債権法にまたがる広い理解を問うた。

問題2では、無断転貸の事案をもとに、それが解除原因になることの理解、また賃貸借契約における信頼関係理論の理解を問うた。

### 2. 採点実感

問題1については、よく出来ている答案と、知識面でも理解面でも不十分な答案とに大きく二分された。後者は、債権者代位制度の転用が思いつかないとか、「対抗要件に基づき明渡請求ができる」というおおよそ権利や対抗力の意味を理解できていないと思われる解答も存在した。

### 3. 学習方法

いわゆる論点の論証方法というものより、民法の条文の意味や制度の成り立ちといった基本的な事柄の理解を優先して習得するよう心掛ける必要がある。そのためには、教科書類をていねいに読み込むという習慣をつけることが大切である。